

GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

～地球をよく知り、地球と共生する～

2014

12

Vol. 3 No.12



環境中のベリリウムとその地球化学	金井 豊	357~365
5 万分の 1 地質図幅「南部」の刊行	杉山雄一	366~371
日本地質学の軌跡 2 和田維四郎と小藤文次郎：東京大学地質学専攻と内務省地質課の誕生	鈴木 理	372~377
産総研一般公開・チャレンジコーナー 「地盤の揺れるようすを目の前で見よう！」	武田直人・今西和俊・内出崇彦・木口 努	378~380
産総研一般公開・チャレンジコーナー 「ジオドクトル 2014」実施報告 宮川歩夢・堀口桂香・朝比奈大輔・住田達哉・勝部亜矢・高橋美江・竹内圭史 古川竜太・佐藤隆司・今西和俊・大坪 誠・内田洋平・西来邦章		381~383
第 23 回 GSJ シンポジウム ポスター		384

表紙説明

地震隆起によって生じた江の島と陸繋砂州

江の島は湘南海岸を代表する景勝地であり、相模湾へと突き出た陸繋島である。島の南岸には波浪によって生じた海蝕台、海蝕崖や“岩屋”と呼ばれる海蝕洞が満潮時においても陸上に露出しており、この島は地震隆起の繰り返しによって生じたと理解されている。1891 年（明治 24 年）以前は島と海岸を結ぶ弁天橋はなく、干潮時のみ洲鼻と呼ばれた砂嘴が現れ、参拝者はここを歩いて渡っていた。1923 年（大正 12 年）9 月 1 日 関東地震により島全体が 1 ~ 2 m 隆起し、それ以降は境川河口から伸びた陸繋砂州がほぼ定常的に出現している。

（写真・文：七山 太¹⁾ 1) 産総研 地質情報研究部門）

Cover Page

An aerial photo of the seismically uplifted Enoshima Island and a tombolo taken on May 12, 2013.
(Photograph and caption by Futoshi Nanayama)